

巨大地震・津波・メルトダウン ～崩れた原発安全神話～

死者・行方不明者2万3000人を超えた東日本大震災。

大津波に襲われた東京電力福島第一原子力発電所では、1～3号機がメルトダウン（炉心溶融）するという危機的状況に陥っている。マグニチュード9.0の巨大地震、高さ15メートルの大津波はすべて「想定外」だったのか？

未曾有の複合災害から日本社会が学ぶべき教訓は何かを皆さんと考えてみたい。

日時：7月4日(月)5限 16:20～17:50

会場：和泉キャンパス

第一校舎208番教室(2階)

講師：柴田文隆氏

読売新聞社科学部長（本学法学部出身）

<講師略歴>

▼1959年秋田県生まれ。82年明治大学法学部卒、読売新聞入社。

地方部、編成部を経て90年から科学部。2000年科学部次長、07年編集委員（科学技術担当）、08年から現職。

東京大学先端科学技術研究センター客員研究員（05～06年）ほか。

コーディネーター：森永由紀教授

予約不要：学部生の受講可 学外の方も受講できます。事前にご連絡ください。

教養デザイン研究科：TEL:03-5300-1544